



上◇玄関ホール 間口が大きくとられた広い玄関には、発展的な気がふんだんに流れ込みます。

右◇内玄関 一對の彫像が置かれた内玄関は、その奥にある特別な空間への期待感を高めさせる働きがあります。

大木や巨岩の庭石を配した日本庭園をもった
長年、暮らし慣れた純和風邸宅を
心機一転リニューアル。
家族の健康と事業の更なる発展を祈願した
寛ぎと安らぎ、楽しさと便利さを併せ持った
住宅が誕生した…。

風水住宅を訪ねて 〇様邸 岐阜県大垣市

愛着があった邸宅を大改造し、氣を整えた住宅に住まう

Q1 『風水住宅』に建て替えようと思われた動機とは、どのようなことだったのでしょうか……。

確か、04年の冬だったと記憶しているのですが、突然、妻から「家を建て替える」と良いらしいわよ……と言われてから、真剣に考えるようになったんです。妻が二度目の大手術を終えて、私自身もどことなく体調の悪さを感じていた。まだ若く、健康そうに見える子どもたちも何となく元気がないようにも見えた……。

「家が原因なのかな？」と思い始めていた時期なので、妻に「家を直すといいよ」とアドバイスしてくれた知人に紹介してもらって、初めて松永先生にお会いすることになりました。

「この家は寒いです」。松永先生とお会いし、鑑定に我が家まで来ていただいたときの最初の言葉がこれでした。「寒いとは、陰気臭いとも言いますが、その原因は氣の流れが悪いことにあります。大変立派な純和風邸宅なのですが、残念ながら現代のライフスタイルや住環境には合いません……」。以前住んでいた家には、10年前に一念発起して土地を購入し、京都から宮大工を呼んで設計から施工までの全てを任せて建てさせたので、とてもこだわりと愛着がありました。当時は、家相学などを独学で勉強はしたものの、『風水』まで考えることはなかったし、想像もしていなかった……。

松永先生の鑑定を受けて、「南向きの門の位置が悪いです。門から入ってくる氣の流れ、また、その氣を家の中に流していく導線があまり良くないですね。また、この家には構造的にも問題があつて、床下にはカビが生えています……。」と言われて、家族全員がいつも家の中では寒さを感じていたこと、さらには私自身の眠りが浅く熟睡できない原因などが理解できました。

すぐに、松永先生の著書とDVDを購入して勉強を始めました。その結果、風水的に不安感が強い部屋の造りであることや住環境が自分の中に「悪い氣」を刷り込んでいた事実などを知り、愕然としました。「家が無意識のうちに住人に対して影響を与えている」と松永先生は著書の中で書かれています。それが真理であることを体感した瞬間でした。

がテーマでした。そのために家の中にギャラリーの回廊のような丸い導線を描くことで氣を集め、家族の健康を高め、また、一家が集うことで家族円満になるような設計となりました。

『ギャラリー・ハウス』。和洋折衷を超えたその発想にびっくりもしましたが、家を建てる前からみんなアイデアや希望などについて話し合っているだけでも、楽しくなり、いつの間にか心がひとつになっていくその充実感が、心身をどんと元気にしていく源のようにも感じられました。

Q3 現在ではどのような変化や周りの方々からの反応がありますか……。

「運氣を上げる」という祈念については、家が出来上がった後から事業がいろんな意味でもスムーズに動いてきたという実感があります。松永先生に言われたことで「帰る家が整っていないければ、1日仕事で出し切った力を再生させることはできない」という言葉がとても印象に残っています。家に帰り、自室で物思いにふけり、落ち着いた気持ちを取り戻すことで、1日のけじめがよりはっきりしてきました。どここの会社の経営者も同じだと思うのですが、結局、自分の弱さを一番良く知っているのは自分自身ですから、その自分としっかり向き合う時間と空間ができたことで、とても寛いだ気持ちになり、また、活力も湧いてくるんですよ。私にとっては、この和室での「祈りと瞑想」の時間、また、書斎での「物思いと寛ぎ」の時間は、今ではかけがえないひと時となっています。

妻は、「家の中が暖かくなった」と喜んでいますが、また、大病をしたにも関わらず、ますます元氣になってきているのがよくわかります。息子たちは、いつも自分の部屋の掃除をしてきれいにする習慣ができましたね。娘は、以前にも増して仕事を一生懸命にやっている様子が、最近よくわかります。こうしたことも、家の中でお互いが顔を合わせる場が増え、会話が増えたことよって初めて知ることができるようになりました……。

『風水』で家を造る、リフォームすることの素晴らしさをお伝えするのはとても難しいことだと思えます。「造ると決めたその瞬間から今現在まで、これほど充実した楽しさと学びの時はなかった」というのが精一杯の言葉ですね。是非とも、多くの人がこの経験をされるチャンスが来ることを願っています。

Q2 どのようなことを変え、また、何を実現できるような『家』を建てたいと……。

まず、「健康第一で運氣を上げる家」を建てたいと松永先生に話しました。すると「今までの人生を変えような大改造が必要ですよ」と言われ、私も全てをお任せすることにしました。今思い返すと、あそこで決断したことは私たち家族にとって大英断だったと思います。

その結果、「外観を残し、内装(家の内部すべての造り)を大きく変更する」と言う方針が決まりましたが、まるで新築の家に住むような設計図を見たとき、正直「引越した方が早いのかも知れない」と思ったほどでした(笑)。

庭園も「大きな木が多すぎると氣が抜かれ、また、陰木が多く陰の氣が強い」という理由から、庭石も「グレー系の石は陰の氣が強い」との理由から、再度、植え替えや置き換え、間引きを行うことになりました。それは、家に帰ってきて門をくぐったときにもいつも感じていた「緊張感」を解きほぐすための方策だとわかり、合点がきました。

実は、以前の家では「氣が滞る場所」が多々あり、「風が吹き抜けるような構造」になっていたのです。ですから今回の大改造にあたっては、氣を凝縮するために気密性を高めること、家に帰ってきてからしっかりと休み、力を補充できるように家にするこ



上◇床の間 掛け軸や塑像が調和を持って配された床の間には、自然と心が整う力があります。

右◇門 職人の匠の技を感じられる門構えは、家の風格を物語っています。

中◇リビング 緩やかなカーブを描く赤い壁によって、リビングとダイニングは一体感をもち、かつ良い氣の繋がりを保っています。



風水インタビュー
FENG-SHUI INTERVIEW